

中村哲 思索と行動

「ペシャワール会報」現地活動報告集成 下 2002～2019

【6月刊】

中村哲 Nakamura Tetsu

ペシャワール会＝発行
忘羊社＝発売

定価：2,970円(2700円＋税／上下巻とも)

病・貧富・戦乱・干ばつ… 世界の不条理に挑み続けた 中村医師の長い旅の軌跡――。

日本の支援者に向けて送られた37年間の活動報告を集成！

40年に及ぶ戦乱と地球温暖化に伴う大干ばつ。

どこにも逃げ場のない人々が自給自足できるように、

井戸を掘り、用水路を造っていくが、次々に試練が襲いかかる…。

アフガンの片隅から、自然への畏敬と

相互扶助の精神を忘れた〈近代〉に

警鐘を鳴らす渾身のメッセージ。

◎上巻は朝日・読売・毎日ほか全国各紙誌で大きく紹介されました！

1984年、パキスタン北西部の古都ペシャワールのハンセン病棟に赴任した中村医師。

ソ連撤退後の内戦下のアフガン、そしてパキスタン最奥の山岳無医村に診療所を建設。

寄る辺なき患者たちに希望の灯火を届けるべく苦闘した、現地赴任後18年間の軌跡。



*下巻＝2002～2019
A5判 上製・472ページ



*上巻＝1983～2001
A5判 上製・432ページ

中村哲(なかもら・てつ)…1946年(昭和21年)福岡県生まれ。医師。ペシャワール会現地代表／PMS(平和医療サービス)総院長。九州大学医学部卒業。日本国内の診療所勤務を経て、84年にパキスタンのペシャワールに赴任。以来、ハンセン病を中心とした貧困層の診療に携わる。86年よりアフガニスタン難民のための医療チームを結成し、山岳無医地区での診療を開始。91年よりアフガニスタン東部山岳地帯に3つの診療所を開設し、98年にはペシャワールにPMS基地病院を設立。2000年からは診療活動と同時に、大旱魃に見舞われたアフガニスタン国内の水源確保のために井戸掘削とカレズ(地下水路)の復旧を行う。03年、「緑の大地計画」に着手、アフガニスタン東部ナンガラハル州に全長27キロメートルに及ぶ灌漑用水路を建設。約16500ヘクタールの沙漠地帯を耕地化・緑化。マグサイサイ賞「平和と国際理解部門」、福岡アジア文化賞大賞など受賞多数。アフガニスタン政府から名誉市民権を授与。2019年12月4日、アフガニスタンのジャララバードで凶弾に倒れる。享年73。著書：『ペシャワールにて』『ダラエ・ヌールへの道』『医者井戸を掘る』『医者、用水路を拓く』(以上、石風社)、『天、共に在り』『わたしは「ゼロ弾き」のゴージュ』(以上、NHK出版)、『希望の一滴』(西日本新聞社)など。

お名前 (フリガナ)	ご住所・電話番号	注文冊数
	〒 電話番号：	冊

- ・代金は後払い。郵便振込用紙を同封して送付致します(別途払込手数料が必要です)。
- ・送料(実費)は別途ご負担頂いております。・繁忙期は発送が多少遅れることがあります。ご了承ください。

ペシャワール会事務局 〒810-0003 福岡市中央区春吉1丁目16-8 VEGA 天神南 601号

電話 092-731-2372 / FAX 092-731-2373 / メール: peshawar@kkh.biglobe.ne.jp